

NPO法人 ネパール野球ラリグラスの会 会報誌

ラリグラス通信

2017年度增刊号 2017年2月1日発行



野球から広がる笑顔の輪



ご挨拶



平素はネパール野球ラリグラスの会に温かいご支援を賜りましてありがとう ございます。「ラリグラス通信2017年増刊号」を発行するにあたり、一言 ご挨拶を申し上げます。

さて、昨年10月にNHK-BS1の新番組「世界はTokyoをめざす」の第1回目としてネパール野球が紹介されました。番組をご覧になった方も多いと存じますが、番組は好評を博し、当会にも多くの好意的な反響が寄せられました。

ところで、番組でも紹介されましたが、現在、ネパールではグラウンド建設へ向けての動きが出始めています。来る2019年には、2020年東京オリンピックの野球の予選となるアジア野球大会が開催されると予想され、ネパールも出場を望んでおります。グラウンドの整備はネパール野球にとっての長年

の願いでもありましたが、オリンピック予選への出場を目指すことを機に、現地ではその声が一層高くなりました。具体的な内容は今後ネパール側と検討いたしますが、オリンピック予選までには完成させ、新しいグラウンドでオリンピックへ向けた練習を行えればと考えております。

そんな中、来る2月25日から3月1日に渡り、パキスタンのイスラマバードで「第13回BFA西アジア野球大会2017」が開催され、ネパールも出場いたします。前述のように、2019年のアジア野球大会は2020年の東京オリンピックの予選となることから、今回の大会はその前哨戦となります。ネパールにとっては3度目の国際大会出場となりますが、代表チーム選考会に参加した選手の多さや強化合宿の実施等、大いに期待ができるチームとなっております。ただ、代表チームといえども、凸凹のグラウンドで練習を行っており、グラウンド建設の早期実現が望まれるところです。

ところで、ネパールの政治的混乱から、これまでネパール国内には2つの野球統括団体が存在し問題となっておりましたが、このたび「ネパール野球ソフトボール協会(NBSA)」に一本化されることとなりました。今回の代表チーム選考に関しましても、NBSAの主導で行われております。NBSAは2009年に設立された団体で、これまでも当会とは友好的な関係を築いてまいりました。当会といたしましても、今後はNBSAとの協力のもと活動を進めることとなりましたので、ここでご報告いたしておきます。

最後に、これまでも繰り返し申し述べておりますが、当会の活動理念は一方的な支援ではなく共に成長する「協働」です。「野球から広がる笑顔の輪」を合言葉にネパール側と協力しながら活動を進めており、最終的にはネパール人の自主運営によるネパール野球を目指しております。当会が活動を始めて19年目になりますが、最近ではネパール人自身の手で野球大会が開催されるなど、徐々に自主運営の動きも進んでおります。今後もこの方針を堅持し、活動を続けてまいります。今後とも皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

NPO法人ネパール野球ラリグラスの会 理事長

小林洋平

NHK-BS1新番組 「世界はTokyoをめざす」 ヒマラヤの空にホームラン!



2016年10月10日よりNHK-BS1で新番組「世界はTokyoをめざす」が始まり、その第1回目としてヒマラヤの空にホームラン! ~ネパール 野球~」と題して、ネパール野球が紹介されました。

「世界はTokyoをめざす」は2020年の東京オリンピック、パラリンピックを目指して奮闘する世界中のさまざまな人々を紹介する番組で、こういった番組の第1回目として取り上げられることは、大変光栄なことであります。番組は好評を博し、放送後には当会にも多くの反響が寄せられました。

■放送日時

10月10日 22:00~22:50

10月19日 24:00~24:50 (再放送) 10月30日 14:00~14:50 (再放送)

■番組情報サイト

http://www.nhk.or.jp/tokyo2020/eye/articles/sekai-1.html



ネパールで取材を受けるイッソー・タパ氏

番組から













可幸代 取材協力 ネパール野球ラリグラスの会

紹介番組

初回放送の10月10日には、 「世界はTokyoをめざす」を含めた 東京オリンピック関連の4つの新 番組を紹介する番組が放送され、 小林理事長、イッソー・タパ氏も 出演いたしました。





ネパールでのグラウンド建設に向けて

現在、ネパールではグラウンド建設に向けて動き始めています。グラウンドの問題は常にネパール野球発展の妨げとなっている問題であり、グラウンド建設はネパール野球の関係者にとって長年の願いでもあります。以下、グラウンド建設の動きについて、その現状を紹介いたします。

グラウンドが出来たら







現地ネパールの野球関係者は、グラウンドの建設を強く望んでいます。グラウンドが整備されれば、そのグラウンドを拠点として、選手の技術向上、野球大会の開催、国外指導者の招聘等、活動の幅が広がり、ネパール野球の発展につなげることができると考えられます。また、ネパールのみならず、主に西アジア地域の野球発展に貢献できることにもなります。

また現在、日本には約6万人のネパール人が住んでおります。ネパールにグラウンドを作ることで、彼らを通じ、日本とネパールの架け橋となるとも考えております。

背景

現在、ネパールでは学校のグラウンドや農地の空き地等で野球を行なっていますが、狭く凸凹で囲いも無く、人や牛が通るなど、安心して野球ができる環境ではありません。当会は長年に渡り、現地の人々とともにネパールでの野球を広める活動を続けてきましたが、グラウンドが無いことが常に問題となっていました。ネパールにはグラウンドに適した広い土地が少なく、子どもたちが安心して遊べる場所が少ないことがネパールにおいてスポーツが発展しない理由のひとつともなっています。それゆえ、ネパールにおいて安心して野球ができるグラウンドを作ることは、ネパール野球の関係者にとっての悲願でもあります。



そして、2015年に発生した大地震がその思いを更に強くしました。グラウンドがあれば、そこを災害発生時の避難場所として確保できるので、安心感が得られるといった考えから、グラウンド建設を望む声も大きくなっていきました。



また昨年、2020年の東京オリンピックに正式種目として野球の復帰が決まりました。そして前年の2019年には、野球のアジア地区予選となるアジア野球大会が開催されると考えられ、ネパールも予選出場を望んでいます。これを機に、良いグラウンドで練習を積み予選に臨みたいとの思いもあり、今般、具体的に建設を進めるに至りました。

計画概要

グラウンドの具体的な仕様、建設費用や工期などは、今後ネパール側とも検討することとななりますが、 おおよそ以下のような構想を持っております。

(1)建設場所

バルバドラ・セカンダリー・スクール (ポカラ市) のグラウンド

ポカラは当会が活動を始めた場所で、ネパール野球発祥の地とも言える場所です。同校のグラウンドはポカラにおける当会の野球交流活動の拠点であり、朝夕に子どもたちが野球の練習を行っております。



バルバドラ・セカンダリー・スクールの グラウンド

(2)基本指針

国際試合ができる広さの基準を満たすこと。但し、本格的な野球場というよりは、他の競技でも利用できたり、子どもたちが安心して遊べる多目的運動広場のようなものの建設を目指します。多目的広場にすることにより、野球のみならずネパールのスポーツの発展にもつなげることができると考えます。また、災害時には避難所としても活用できるよう、防災面も考慮したものとしたいとも考えています。

(3)補足事項

- ・バルバドラ・セカンダリー・スクールからはグラウンドの仕様に対し了承を得ております。
- ・同校のグラウンドのみでは広さが十分ではないので、隣接する農地もグラウンドに転用する予定です。





3ページでご紹介した「世界はTokyoをめざす」では、イッソー・タパ氏が建設予定地であるバルバドラ・セカンダリー・スクールの関係者と交渉する場面が紹介されました。

スポンサー、講演依頼募集中

(問い合せ先)info@nepalbaseball.net

当会では、グラウンドを整備するためのスポンサー様を幅広く募集いたしております。また、当会の活動やグラウンド整備構想に関する講演の依頼も承っております。詳しくは、当会までお問い合せください。

■会費、寄付金お振込先

【銀行】三菱東京UFJ銀行 城東支店 普通口座 0187650 【郵便振替】口座番号 00950-8-165088 NPO法人 ネパール野球ラリグラスの会



ネパール野球ソフトボール協会

政治的な問題も有り、これまでネパールには2つの野球統括団体が存在しており、それがネパール野球発展の妨げにもなっておりました。両者の一本化への協議はこれまでも何度となく行われてきましたが、不調に終わっていました。

それが昨年、両者の協議がようやく合意に至り、今後のネパールにおける野球の活動は「ネパール野球ソフトボール協会」によって一本化されることとなりました。当会はかねてより双方の団体と友好的な関係を築いておりますが、今後はネパール野球ソフトボール協会との協力の下、活動を進めてまいります。ここで、ネパール野球ソフトボール協会についてご紹介したいと思います。



組織概要

■名称: Nepal Baseball and Softball Association

(略称: NBSA)

■役員:

会長 Asit SJB Rana

副会長 Bimal Kumar Bhattarai 副会長 Pradip Kumar Khatri 事務局長 Dipak Neupane 書記 Bipin Bajracharya

青記 Bipin Bajracharya 経理部長 Padhyanav Paudyal

アドバイザー小林 洋平委員11名

■設立:2009年

■ホームページ: http://www.nbsa.org.np/

・NBSAはネパールスポーツ評議会から認定されたネパール国内における唯一の野球およびソフトボールの公認統括団体です。

・世界野球ソフトボール連盟(WBSC)における野球の登録団体は2016年12月12日よりNBSAに変更されました。

ネパールスポーツ評議会 (Nepal Sports Council)

ネパールスポーツ評議会(NSC)はネパール政府認定の組織で、ネパールのスポーツを取り仕切っています。ネパールオリンピック委員会を含め、ネパールの各公認競技団体はNSCの傘下に入っています。また、ネパールにおける全てのスポーツイベントはNSCの許可を受ける必要があります。



NBSAのホームページ

活動の様子



野球教室



野球大会の開催



役員・委員一同



ネパールオリンピック委員長訪問



各野球クラブ代表者との会議



ラリグラスの会との交流

NBSAからのご挨拶



With the Big Earthquake in Nepal on April 25, 2015, there is a need for restructuring and also a need to locate alternative revenue sources. We find the international game of baseball at a crossroads. We need to reunite our community to work as a team and strengthen our relationship with the professional baseball bodies. Greater participation of professional organizations and their players could have a major impact play in our community and would significantly improve the current state of national baseball.

We need to redefine and maximize the value of our tournaments. We need to demonstrate that baseball/softball is truly a global sport that involves millions of male and female athletes, coaches, fans and families worldwide. Challenges are ahead of us, but I am confident that with the continued support from Japanese supporters, we can overcome this difficult moment. Together we can involve in promoting baseball throughout the country where each of you plays an integral role. Once again, I thank all of you who supported NBSA. It is my belief that your involvement and support will remain steadfast. The thoughts, comments and suggestions of the international baseball community are always welcomed and encouraged.

2015年4月25日のネパールでの大地震にともない、再構築の必要性が生じ、そして新たな資金源の開拓も必要となっています。野球という国際的な競技が十字路に立っています。私たちはチームとして働くために地域の力を再結集して、私たちとプロ野球団体との関係を強める必要があります。より多くのプロ組織およびその選手たちが参加することにより、私たちの地域に対する大きな影響を与え、国の野球の現状を大きく進歩させることでしょう。

私たちは私たちの大会の価値を見直して最大化することが必要です。私たちは、野球・ソフトボールが世界中で何百万人もの男女のアスリート、コーチ、ファン、家族が関わっている本当に世界的なスポーツであることを示す必要があります。難しい挑戦ではありますが、しかし、私は日本の支援者からの継続的な支援により私たちがこの難局に打ち克つことができるという自信があります。全国各地での野球普及のため、皆様それぞれが不可欠な役割を演じることで、私たちは互いに協力することができます。繰り返しになりますが、私はNBSAをご支援いただいてるい全ての皆様に御礼申し上げます。皆様のご参加とご支援は根強く残ると信じています。国際的な野球界のご意見、コメントおよびご助言を常に歓迎いたしております。またそれが励みとなります。

ネパール野球ソフトボール協会 会長 アシット・ラナ / Asit SJB Rana



It is our privilege to have received support from Japan. For the growth and development of Baseball in Nepal, the contribution from the supporters of Japan is heartily appreciated by Nepal Baseball and Softball Assosciation(NBSA). Despite the major Gorkha Earthquake that hit Nepal in 2015, the dedication and charm towards this game has not reduced an inch. Instead, because of your support, it has helped us a lot to promote Baseball in Nepal. With your continued support and help, we believe we can develop this game to its full potential all over the Nepal.

We also believe that Team Nepal deserves quite a lot of international medals and recognition with the increasing prospects in the quality of game as exhibited by the players. NBSA is serving as a sole governing body to develop and showcase the skills and talent of the emerging players in national and international level.

日本からは大変恩恵を受けております。ネパール野球の成長と発展のための日本の支援者からの貢献に対しネパール野球ソフトボール協会(NBSA)は心から感謝いたします。2015年のネパールを襲った大地震にも関わらず、この競技に対する魅力と献身は少しも衰えませんでした。それどころか、皆様のご支援がネパール野球の助けとなりました。私たちは皆様から継続的なご支援をいただくことで、この競技がネパール全土で最大限に発展する可能性を信じています。また、 私たちは、選手たちが見せる試合の成績よって、ネパールチームが国際的に多くのメダルや表彰を受けるようになる見込があると信じています。NBSAは、国内外のレベルで成長する選手の技術や才能を発展させ紹介するため、唯一の政府機関としての役割を担ってまいります。

ネパール野球ソフトボール協会 事務局長 ディパック・ネウパネ / Dipak Neupane

ネパールU-15少年野球大会

2016年11月17日と18日にカトマンズのダサラス・ランガシャラ・スタジアムで15歳以下の少年野球大会が開催されました。

男女合わせて14チームが参加し、男子は野球、女子はソフトボールの試合を行いました。かつて無いチーム数の参加で、大会は盛り上がりを見せました。尚、この大会の計画や運営は全てネパール側の手によって行われました。



大会概要

■開催日:2016年11月17日、18日 ■会場:ダサラス・ランガシャラ・スタジアム

■主催:ネパール野球ソフトボール協会

■出場チーム

(男子8チーム)

- ゴルカクルー - バクタプル・ライジングスターズ

- ブダニールカンタ校 - マルピ・インターナショナル校

- ギャノダヤ校 - ホリー・ガーデン校

- ヒマラヤン・アダルサ校 - ブリテッシュ・ゴルカ校

(女子6チーム)

- ブダニールカンタ校 - マルピ・インターナショナル校

- ギャノダヤ校 - ホリー・ガーデン校

- ヒマラヤン・アダルサ校 - ブリテッシュ・ゴルカ校



(男子)優勝:ゴルカクルー、 準優勝:バクタプル・ライジング・スターズ (女子)優勝:マルピ・インターナショナル校、 準優勝:ブダニールカンタ校







ダサラス・ランガシャラ・スタジアム

大会が行われたダサラス・ランガシャラ・スタジアムはカトマンズにあるネパールの国立競技場で、サッカーの国際大会も開催されるネパール最大の競技場でもあります。





「ネパールで野球やソフトボールを広めるため、そして選手を育てるためにこの大会を開催しました。しかし、このような大会を開催するのは初めてでしたので、なかなかうまく行かない面もありました。」

ネパール野球ソフトボール協会 事務局長 ディパック・ネウパネ氏





laseball Tournamer



第1回ネパール全国野球大会2016



2016年12月16日から3日間に渡り、ネパールの主要5チームによる「第1回ネパール全国野球大会2016」が開催されました。

尚、この大会は2017年2月にパキスタンで開催される「第13回西アジア野球大会」にネパール代表として出場する選手の選考会も兼ねており、代表入りを狙う選手たちによる白熱した試合が展開されました。

大会概要

■開催日:2016年12月16~18日

■会場: Army Physical Training and Sports Center

■主催:ネパール野球ソフトボール協会

■出場チーム

ポカラ・イエティーズ、 バクタプル・ライジングスターズ ゴルカクルー、 武装警察、 ネパール国軍

■試合形式

A、Bの2組に分かれて予選リーグ 各組上位2チームによる決勝トーナメントと3位決定戦 A組(ネパール国軍、バクタプル・ライジングスターズ、武装警察)

B組(ゴルカクルー、ポカラ・イエティーズ)

■試合結果

優勝:武装警察、 準優勝:ネパール国軍



優勝した武装警察チーム



来賓、ネパールオリンピック委員会 ラマ・シェルパ副委員長









NBSA アシット・ラナ会長の言葉

この大会は、ネパール野球発展における素晴らしい新時代の幕開けとなります。選手たちにとってこの新しい舞台が自分の才能を発揮する場としての目標となることを望んでいます。

代表選考

今回の大会は、来る西アジア野球大会に出場するネパール代表選手を選ぶための選考会ともなっていました。試合でのプレーや普段の練習での様子も考慮に入れ、最終的に19名の選手を選抜いたしました。



野球用具の贈呈

大会期間中には、日本の支援者 の皆様からご寄付いただいた野球 道具を参加した各チーム手渡しま した。





ポカラ・イェティーズ Pokhara Yetis



1999年に当会が ポカラで野球交流活動 を始めたことが切っ掛 けとなり結成された チームで、他チームの 指導役も担っている。

コーチ: アニール・パリヤー ラジェス・バスネット



代表者: ナワラジ・ブジェル

チーム創設時からずっ と野球を続け、現在は コーチをしている。

注目選手

スシル・パリヤー



2014年に来日した少年 選手団のひとり。06ブ ルズ時代の阪神・福永投 手とも交流したのが縁で 代表チームで背番号40 を付ける。

ネパールの野球チーム

ここで、今回の「第1回ネパール全国野球大会2017」 に出場した主要5チームを含め、現在、ネパール国内で活動 している野球チームをご紹介します。



ネパール国軍 Nepalese Army



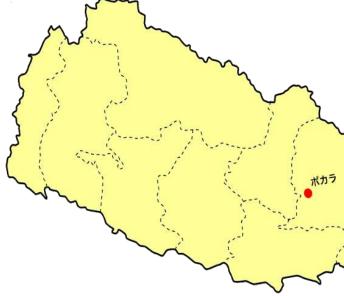
訓練の一環として、近年、野球を取り入れた。今回の第1回ネパール全国野球大会は軍の訓練施設で行われた。

注目選手

ビノッド・コイララ

外野手。ネパール代表に も選ばれ、期待を集めて いる好守のセンター。





ここで紹介したチーム以外にも各地の学校で チームが作られています。



ラリトプール Lalitpur

2016年にラリトプールで結成されたクラブ チーム。





代表者:ジーバン・ケーシー



バクタプル・ライジングスターズ Bhaktapur Rising Stars



代表者: ローシャン・タパ 2015年に中国の MLB施設で研修 を受ける。



2013年にバクタ プルで結成されたクラ ブチーム。2015年 の震災で多くの選手の 家が被災した。震災復 興の象徴的なチーム。

コーチ:

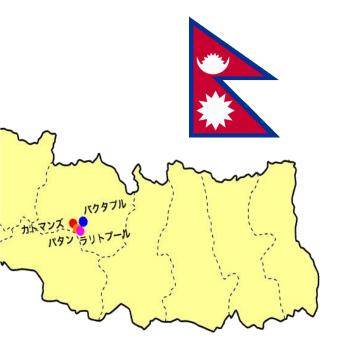
ニスチョル・ケーシー

注目選手

サグン・キチャジュ

捕手。チームのキャプテンを務める。第1回ネパール 全国野球大会ではホームランを放つ。







武装警察 Armed Police Force (APF)



注目選手

ミラン・タパ

投手。第1回ネパール全国 野球大会ではMVPに選ば れた。

2015年、ネパールの震災後にパタンで結成された





ゴルカクルー Gurkha Crew



代表者: ディネッシュ・ バジャガイン

注目選手

クラブチーム。シニアチームも有り。

スクリム・タパ ゴルカクルーの エース投手。2017 年1月に野球研修の ため来日予定。



侍ジャパン 公式ウェブサイト



当会では、2015年4月より、野球日本代表「侍ジャパン」の公式ウェブサイト内のコラム「世界の野球」において「ヒマラヤを北に臨む国ネパールの野球」と題したネパール野球を紹介する記事を執筆させていただいております(不定期更新)。ここに、コラムの中から2つの記事を紹介させていただきます。

第18回(2016年11月25日掲載)

「NHKの新番組『世界はTokyoをめざす』」

前回の記事でも触れたが、10月10日からNHK-BS1で新番組「世界はTokyoをめざす」が始まり、その第1回目として、「ヒマラヤの空にホームラン!~ネパール野球~」と題し、ネパール野球が紹介された。

番組では、4月に行われたネパール震災復興支援野球大会の様子を中心に、震災後の厳しい生活の中でも日々野球に打ち込むバクタプルのサグン・キチャジュ君の姿、さまざまな問題に苦悩しながらポカラで指導を行うイッソー・タパ氏の姿などを通して、苦しい中でも夢に向かって歩んでいるネパール野球の現状が描かれていた。番組は好評を博し、10月16日と10月30日の2回に渡り再放送された。当会にも多くの方々から「感動した」、「貧しくて厳しい環境の中でも野球を続けている姿を見て涙が出た」、「日本は恵まれている」、「がんばってください」など好意的な反響が多く寄せられており、嬉しい限りである。

一方、これまでにも多くの方がネパールを訪れ、現地で実際にネパールの子供たちが野球をしている姿を目にしている。現地でネパールの野球を見た方々からは「『フィールド・オブ・ドリームス』の世界ですね。」、「今の日本ではなかなか見られない野球の原風景が見えるようだ。」といった感想を耳にすることが多い。当会が、上手い選手を育てるとか強いチームを作るというよりも、現地の人と一緒に野球を楽しみたいという思いで活動を続けてきたことも、そのような印象を与える要因かもしれない。

今回の番組を通じて多くの皆様にネパール野球のことを知っていただけたと思う。尚、番組に盛り込まれなかった内容も含め、番組をより楽しむための情報がNHKのホームページに掲載されているので、ぜひご覧いただきたい。

http://www.nhk.or.jp/tokyo2020/eye/articles/sekai-1.html

「世界はTokyoをめざす」は2020年の東京オリンピック、パラリンピックを目指して奮闘する世界中のさまざまな人々を紹介する番組である。番組でも紹介されていたが、野球のオリンピック復帰決定後、ネパール野球にとってもオリンピックが新たな目標となっている。野球のオリンピック予選が開催されるのは、前年の2019年であろう。さまざまな困難はあると思うが、まずは予選出場をぜひ実現させたい。









コラム「ヒマラヤを北に臨む国、ネパールの野球」

URL: http://www.japan-baseball.jp/jp/world/#unit-nepal



第20回(2016年12月16日掲載)

「もうひとつのWBC」

前回の記事では11月にカトマンズで行われたU15の野球大会について紹介したが、それから1ヶ月後の去る12月16日から3日間に渡り、「第1回ネパール全国野球大会2016」が開催された。大会に出場したのは、ポカラ・イエティーズ、バクタプル・ライジングスターズ、ゴルカクルー、武装警察、ネパール国軍で、現在のネパールを代表する5チームが集まったネパール最高峰の大会となった。優勝は武装警察。武装警察が野球を始めたのは数年前であるが、ネパールの野球が1999年にポカラから始まったこともあり、かつてはポカラの選手が武装警察に指導に行ったときもあった。今回の大会で優勝を勝ち取った武装警察の成長には目を見張るものがある。

ところで、この大会にはもうひとつの目的があった。来年2月25日から3月1日までパキスタンのイスラマバードで開催される「第13回BFA西アジア野球大会2017」に出場するネパール代表チームの選手の選考である。この大会の正式名称は「13th BFA West Asia Baseball Cup 2017」。非公式ながら、「WBC」と略すこともできる。日本球界でWBCといえば侍ジャパンも出場する「World Baseball Classic」のことを指すので、西アジア野球大会は「もうひとつのWBC」といったところであろうか。







ネパール全国野球大会の期間中、私もネパールを訪れ選手の選考に加わった。選考は主に試合でのプレー等を見て行ったが、短期間で5チームの選手の技量を見極め、代表選手を選出するのは大変困難なことであった。また、代表選手を発表するということは、それ以外の選手にいわば不合格を告げることでもあるし、彼らの今後の人生を左右することにもなりかねず、心苦しいものがあった。しかし、代表チームの人数には限りがあるので、他にも選びたい選手はいたが、心を鬼にして、最終的に19名の選手を選出した。

ネパールは過去2回、国際大会(2011年第1回南アジア野球選手権、2013年の第11回西アジア野球大会)に出場しているが、両大会とも全敗している。また、過去の大会では全てポカラから選手が選出されていた。しかし、その後、ポカラ以外でも日常的に野球を行う場所が増え、今回は5チームからの選出となった。また、大会に向けた強化合宿も計画されている。

2020年には東京オリンピックが開催される。そして、その前年の2019年には野球の予選となるアジア野球大会が開催されることとなるであろう。そういった意味で、今回の「第13回BFA西アジア野球大会2017」は、2020年東京オリンピックの前哨戦となる大会でもある。ネパールを背負って国際舞台で戦うこととなった19名が「もうひとつのWBC」でネパールに初勝利をもたらすことを期待している。







第13回西アジア野球大会2017

来る2017年2月25日からパキスタンのイスラマバードで「第13回西アジア野球大会」が 開催され、ネパールも出場いたします。

ここで、今回の「第13回西アジア野球大会」についてご紹介いたします。

大会概要

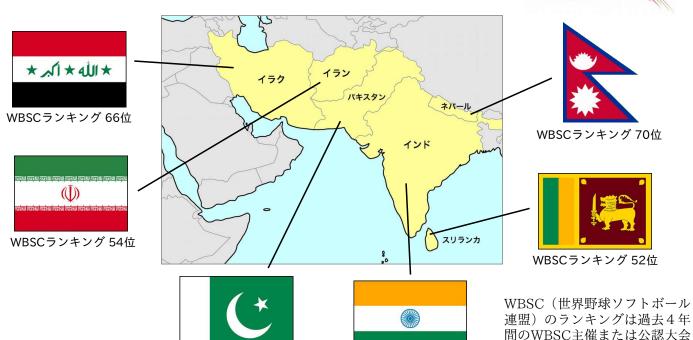
■大会名 13TH BFA WEST ASIA BASEBALL CUP 2017

■日程 2017年2月25日から3月1日まで

■会場 Islamabad Sports Complex (パキスタン・イスラマバード)

■参加国 インド、イラン、イラク、ネパール、スリランカ、パキスタン





参加国の戦績



パキスタン

2013年、2015年の西アジア野球大会で金メダル。その後、当会公認パートナーのアブドラ・バラ投手も代表入り。

WBSCランキング 24位



WBSCランキング 60位

スリランカ

られます。

2013年の西アジア野球大会で銀メダル。長年、海外青年協力隊員が指導員として送られている。

での成績に基づいて順位が決め



イラン

4回目の出場。2015年の西アジア 野球大会で銀メダル。



イラク

2015年の西アジア野球大会に出場し、4位に終わる。



インド

2015年の西アジア野球大会で銅メダル。ネパールとの間で野球発展協定を締結している。



ネパール

2011年の南アジア野球大会、 2013年の西アジア野球大会に 出場するも未勝利。

ネパール代表チーム強化合宿

2月25日からの大会に向け、ネパール代表チームは1月 上旬からカトマンズ北部のブダニールカンタ村で強化合宿を 行いました。このような強化合宿はネパール野球史上初の試 みとなりました。













イッソー・タパ主将の言葉

応援ありがとうございます。 2月の西アジア野球大会は厳しい戦いになる と思いますが、一生懸命練習して良い結果を 出し、次に繋げることができるようにがんば ります。

ネパールの国際大会出場の記録

「第1回南アジア野球大会」

■開催日:2011年4月12日から4月17日

■会 場:パンジャブ・スタジアム (パキスタン・ラホール)

■ネパールの戦績

(1) スリランカ20-0ネパール(2) パキスタン21-0ネパール(3) アフガニスタン19-11ネパール



ネパールとしては初の国際大会出場となった大会でしたが、他国との実力差は 歴然としており、3戦全敗という残念な結果に終わりました。

「第11回西アジア野球大会」

■開催日:2013年11月30日から12月2日

■会 場:パンジャブ・スタジアム (パキスタン・ラホール)

■ネパールの戦績

(1) スリランカ 19-0 ネパール

(2) パキスタン 18-0 ネパール

(3) アフガニスタン 3 - 2 ネパール

小林理事長がネパール代表チームの監督を務めました。ネパールは3戦全敗でしたが、最終日の3位を賭けたアフガニスタン戦では、7回まで2-2の同点からの1点差負けという接戦を演じました。



第13回西アジア野球大会2017

ネパール代表チーム名鑑



19 団長 プラディープ・クマル・カトリ PRADEEP KUMAR KHATRI NBSA副会長、 ネパールスポーツ評議会委員



18 監督 ディパック・ネウパネ DIPAK NEUPANE NBSA事務局長



16 コーチ ナラヤン・ガトリ NARAYAN GHATRI NBSA委員



13 コーチ 西尾 匠 TAKUMI NISHIO 大阪経済法科大学在学中 駒大苫小牧高校野球部出身

99 投手



51 アシスタント 鈴木 秀利 HIDETOSHI SUZUKI ラリグラスの会 事務局長



イッソー・タパ ISWOR THAPA ナインフォース、元06BULLS投手 / 1988.11.06



40 捕手 スシル・パリヤー SUSHIL PARIYAR ポカラ / 2001.2.14



3 投手 スクリム・タパ SUKRIM THAPA ゴルカクルー / 1991.6.8



【7 投手・内野手 ミラン・タパ MILAN THAPA APF / 1991.10.6



44 内野手 プラカシュ・バハドール・ プジャラ PRAKASH BAHADUR PUJARA APF / 1987.11.20



8 捕手 ジット・バハドール・タマン JIT BAHADUR TAMANG APF / 1991.1.15



55 外野手 アチット・カリキ ACHIT KARKI APF / 1985.9.21



14 投手・内野手 マン・クマル・マル MAN KUMAR MAL

ネパール国軍 / 1994.10.20



6 捕手ビマル・ラミチャネBIMAL LAMICHHANEネパール国軍 / 1987.3.12



■ ヘッドコーチ小林 洋平YOHEI KOBAYASHIラリグラスの会 理事長プール学院大学出身、団体職員



20 審判員 アビシェック・カリキ ABHISHEK KARKI ネパール主任審判員



15 アシスタント 重田 大輝 HIROKI SHIGETA 京都外国語大学在学中 大阪市立桜宮高校野球部出身



32 アシスタント 徳中 優俊 MASATOSHI TOKUNAKA 元0 6 BULLS投手



2 投手・捕手・内野手アニール・パリヤーANIL PARIYARポカラ / 1990.7.2



4 投手・内野手 ラジェス・バスネット RAJESH BASNET ポカラ / 1994.3.1



9 捕手 サグン・キチャジュ SAGUN KHICHAJU バクタプル / 2001.11.28



1 内野手 カダック・シン・ビスト KHADAK SINGH BIST APF / 1987.2.12



5 投手 モハマド・イルシャド・ フセイン MOHAMMAD IRSHAD HUSSAIN APF / 1987.12.29



33 外野手 パダム・シン・プジャラ PADAM SINGH PUJARA APF / 1990.7.1



7 外野手 ビノッド・コイララ BINOD KOIRALA ネパール国軍 / 1987.12.29



24 内野手 ディネッシュ・シン・ バンダリ DINESH SINGH BHANDARI ネパール国軍 / 1982.6.3



10 投手・内野手 ジーバン・ナト JEEWAN NATH ネパール国軍 / 1987.9.5



29 内野手 スバス・ボハラ SUBHASH BOHARA ネパール国軍 / 1994.6.24

ナインフォース

当会は2016年1月に、奈良県山添村を本拠地として活動している社会人硬式野球チーム「Nine Force (ナインフォース)」の運営母体となりました。以下、ナインフォースの活動についてご紹介します。

活動の概要

ナインフォースは主に週末に練習や試合を行っており、今年は愛知や岐阜のチームも含め数試合の対戦をしました。また、山添村での地域貢献活動や奈良県の知的障がい者ソフトボールチーム「ぐれいとぶっだ」との交流など社会貢献活動にも尽力しています。





第3回紀南ベースボールフェスティバル in 田辺

紀南地方での硬式野球振興を図るため紀南社会人硬式野球クラブが中心となり、2014年から硬式野球大会が開催されています。今回で第3回目を迎えたこの大会ですが、今回はナインフォースが初めて出場し、準優勝いたしました。

大会概要

- ■開催日:2016年10月9日
- ■会場:田辺スポーツパーク野球場
- ■主催:紀南ベースボールフェスティバル実行委員会
- ■後援:田辺市教育委員会、FMTANABE、
 - 紀伊民報、イコラボ
- ■試合方式: 4チームによるトーナメント戦
- ■出場チーム
 - ・紀南社会人硬式野球クラブ(和歌山県田辺市)
 - ・ナインフォース (奈良県山添村)
 - ・兵庫ブルーサンダーズ育成軍 (兵庫県三田市)
 - ·近畿医療専門学校(大阪市)



■ナインフォースの戦績

1回戦

ナインフォース 5-4 近畿医療専門学校 決勝戦

兵庫BS育成軍 7-5 ナインフォース

■チームの感想

課題や反省点も多く出ましたが、評価すべき部分が多くあったことも収穫でした。 全員で野球を楽しみ、集中力を切らさず、声をつなぎ、ミスを最小限に抑え、切り替 えができたこと、また、育成軍とは言え、独立リーグのチーム相手に大量失点を許さ ず、何よりも決勝戦はエラー0。フルメンバーに近く、公式戦に近い試合環境であっ たため、いつも以上の力が出せた大会となりました。苦節6年。追い求めていた社会 人硬式野球クラブチームに一番近いチーム状態でありました。



1回戦ではイッソー・タパ 投手が先発しました。

選手・マネージャー・スタッフ募集中

ナインフォースの最大の課題は、メンバーの数です。硬式野球をしたい、挑戦したい、携わってみたい人ならば、男女・年齢・経験を問わず募集しています。 最近は若い年齢(特に中学生、高校生)で怪我等の理由で硬式野球を断念せざるを得ない(硬式野球チーム、部に入れない)人の相談も受けます。そのような方々もナインフォースは受け入れております。(実際そのようなメンバーも所属しております)また、野球を通じた国際交流活動、地域活性化活動に興味がある人も大いに歓迎です。

ナインフォースは「野球しかしない」チームは目指しておりません。新しいアイデア(もちろん野球と関連)をお持ちの方も歓迎です。



南アジア交流野球教室2016

当会は2015年11月に東京の板橋区立高島第三小学校において当会の公認パートナーであるイッソー・タパ氏やスジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏などを指導者とした「南アジア交流野球教室」を開催いたしました。野球教室は好評で、再度開催の要望を受けたこともあり、2016年も前年に引き続き、同野球教室を開催することとなりました。今回は新たに舟渡小学校でも野球教室を行うとともに、高島第三小学校ではネパール人学校エベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパンの生徒も加わり、野球を通じた国際交流を行いました。

以下、野球教室の概要と当日の活動の様子について、ご紹介いたします。

イベント概要

- ■開催日 2016年11月5日(土)
- ■会場 (午前)板橋区立高島第三小学校 (午後)板橋区立舟渡小学校
- ■講師

イッソー・タパ氏(ネパール代表チーム主将、元06ブルズ投手) スジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏(国際審判員、元スリランカ代表投手) その他、当会スタッフ

■内容

開会式・オリエンテーション 準備運動、ランニング、キャッチボール バッティング練習、守備練習、走塁 閉会式





■事業認定

「Sport for Tomorrow」認定プログラム 「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」公式サイドイベント



高島第三小学校



舟渡小学校

活動の様子













小学校での授業

野球教室に先立ち、高島第三小学校と舟渡小学校では、国際交流に関する授業が行われました。野球教室の前日の12月4日には、イッソー・タパ、スジーワ・ウィジャヤナーヤカの両氏が舟渡小学校が教壇に立ち、ネパールとスリランカの文化や日本での活動について紹介しました。





ネパール野球の歩み

当会は1999年の活動開始以来、野球を通じたネパールとの交流を目的とし、様々な活動を行ってまいりました。ここで、これまでの当会ならびにメパール野球の歩みをご紹介したします。

1999年

- プール学院大学のネパール研修中にネパールでは野球が全く知られていないことを知る。赤松弘章を中心にネパール野球紹介活動グループが発足。現地NGO「ESODEC」とともに活動を開始。(2月)
- アマ・シン・セカンダリースクールの学生20名に「これがボールです」と道具の説明から野球交流活動がスタート(9月)



活動当初



吉田義男氏のご指導 (2000年)

2000年

- 野球が続けられていたのを確認し、ルールを中心とした紹介。
- 元阪神タイガース監督の吉田義男氏からご指導をいただく。
- アマ・シン・セカンダリースクールで2チームを作り、対抗戦 を開催。

2001年

- 現地指導者として花倉雄宇也を派遣(2001年3月~2002年3月)。
- 初のポカラ市内学校対抗トーナメント大会を開催。

2002年

- 現地指導者として園田健弥を派遣(2002年5月~2003年3月)。
- ネパール語の野球ルールブックを作成。



ポカラでの大会 (2001年)



現地指導者派遣

2003年

カトマンズ大学で野球紹介活動。ポカラ選抜と試合を行なう (ポカラ選抜が勝利)。

- 野球交流活動に参加した OB · OG が中心となり、ネパールで 野球「ラリグラスの会」(代表:小林洋平)が発足。
- 現地指導者として三浦昌広を派遣(2004年4月~10月)
- シャム・グルン (ネパール人指導者) を育成。

2005年

- ホームページを開設。
- LALIGURANS草野球チーム始動。

2006年

- 1996年から行われていたネパール内戦が終結。
- 現地事務所兼日本語学校としてポカラハウスを設立(10月)。
- 現地指導者として小林洋平を派遣(2006年8月~2007年3月)、ポカラハウスの設立と運営にも関わる。
- 日本語教師として糸賀恵理子(2006年9月~2007年12月)、 小林剛史(2006年9月~2008年4月)を派遣。
- ポカラハウスのスタッフとしてネパール人5名を雇用。
- 第1回ポカラ・ベースボール・トーナメント開催(11月)。
- 1996年から続いていたネパールの内線が終結。



草野球チーム・ラリグラス



ポカラハウスのスタッフ (2006年)



ワンワールドフェスティバル (2007年)

2007年

- ワンワールドフェスティバルに初出展(2月)。
- 日本語教師として峯尾なつみを派遣(2007年3月~2008年3月)。
- 現地指導者として藤岡恭兵を派遣(2007年7月~2008年5月)。
- カトマンズとバクタプルで野球を紹介。
- 第2回ポカラ・ベースボールトーナメント開催(3月)。

2008年

- 第3回ポカラ・ベースボールトーナメント開催(4月)。
- バクタプルにて、ポカラ、カトマンズの2チーム、バクタプルの 計4チームによるトーナメント大会を開催。



ポカラ・ベースボール・ トーナメント(2008年)



イッソー・タパのトライアウト (2009年)

- ポカラハウス閉鎖(2月)。
- 現地指導者として原田篤を派遣(2009年7月~2009年9月)。
- イッソー・タパを日本に招聘、ネパール人として初めてプロ野球 独立リーグの入団テストを受験(11月)。

ネパール野球の歩み

2010年

- イッソー・タパを日本に再び招聘、関西独立リーグ大阪ホークス ドリーム(監督:門田博光氏)に入団しネパール人初のプロ野球 選手誕生(11月)
- ネパール野球ソフトボール協会設立(会長: Asit SJB Rana)。

2011年

- パキスタンで第1回南アジア野球選手権開催。ネパール初の国際 試合。ネパール代表チーム参加への支援活動を行う。
- ネパールが世界ランク55位にランクイン。
- イッソー・タパが06ブルズ(監督:村上隆行氏)に移籍。06 ブルズと提携。

2012年

- イッソー・タパ、06ブルスを退団。(11月)
- パキスタンPunjab International Sports Festival 2012にて銅メダル獲得。(11月)
- 東北楽天の秋田佳紀コーチによるトレーニング講習会を開催。 (12月)



イッソー・タパ、大阪ホークス ドリーム入団(2010年)



第1回南アジア野球選手権 (2011年)



パンジャブ・スポーツ・ フェスティバル(2012年)



国際野球連盟総会(2013年)



東大阪・パキスタン友好試合 (2013年)



世界少年野球フェア (2013年)

- ネパールに 1 トンの野球道具を輸送し、ネパールから感謝状授 与。(2月)
- 国際野球連盟(IBAF)の総会にネパールが初参加し、加盟が 承認される。(4月)
- ネパールと友好関係にあるパキスタン野球連盟から依頼があり パキスタン東大阪友好親善試合の実施(6月)。また、12月に パキスタン野球連盟から表彰される。
- NPO法人ネパール野球ラリグラスの会へ名称変更(8月)
- ・ ネパール野球15周年式典開催 (8月)
- 世界少年野球推進財団主催(理事長:王貞治氏)の野球教室に ネパール(選手5名と役員1名)が招待される(8月)
- ネパール人指導者2名が来日、短期研修実施(8月)
- スリランカで第1回西アジア野球審判講習会が開催。アビシェック・カリキが参加。(11月)
- 第2回インド・プレミアリーグに10名派遣予定も国内デモの影響で参加できず。(11月)
- イランの不参加によりパキスタンで開催された第11回西アジア カップに急遽出場。小林洋平がネパール代表監督に就任し、監 督賞を受賞。(12月)

2014年

- 日本テレビ「Going Sports&News」がネパール野球を現地取材。 (4月)
- 「日本・ネパール野球交流プログラム2014」を実施。ネパール から少年野球選手団を日本に招き、各地で親善試合などを行なう。 (8月)



日本・ネパール野球交流 プログラム2014



震災復興支援物資の配布 (2015年)



南アジア交流野球教室 (2015年)

2015年

- 日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業「Sport for Tomorrow」のコンソーシアム会員になる。(3月)
- バクタプルで学校対抗野球大会を開催(3月)
- ネパール語の新ルールブックを作成(3月)
- 東京のネパール人学校、エベレスト・インターナショナル・スクールで野球交流会を実施。(4月)
- ネパールで4月25日に大地震発生。小林理事長と鈴木事務局 長がネパールに赴き、現地の状況を調査するとともに、バクタ プルの被災者に支援物資を手渡す。(5月~)
- 中国のMLBアカデミーにネパール人指導者2名を派遣(6月)
- 現地指導者として重田大輝を派遣。
- 東京都板橋区・高島第三小学校にて「南アジア交流野球教室」 を開催。(11月)

- 社会人硬式野球チーム「ナインフォース」の運営母体となる。 (1月)
- Jリーグ等が中心となり開催されたネパール防災スポーツ教室に 参加(2月)
- カトマンズで「ネパール復興支援野球大会」開催(4月)
- 東京のネパール人学校、エベレスト・インターナショナル・スクールで野球交流会を実施。(5月)
- ネパールとインドの野球協定が結ばれる。(8月)
- 東京・代々木公園で開催されたネパールフェスティバル2016にて 海外在住ネパール人協会より表彰を受ける。(8月)
- 東京都・高島第三小学校および舟渡小学校で「南アジア交流野球 教室2016」開催。(11月)



ネパール防災スポーツ教室 (2016年)



ネパール復興支援野球大会 (2016年)



Road to Tokyo 2020

ひとりでも多くの方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

野球道具のご寄付

但し、バット、衣類・靴類のご寄付は 新品に限りお受けしております。 /

講演のご依頼

3月までの予定は決まっておりますので、 4月以降の日程でご検討ください。

会員・スポンサー募集中

当会はの活動は会費、寄付金で成り立っております。

■会費、寄付金お振込先

【銀行】三菱東京UFJ銀行 城東支店 普通口座 0187650 【郵便振替】口座番号 00950-8-165088 NPO法人 ネパール野球ラリグラスの会

(問い合せ先) info@nepalbaseball.net

ネパールでのグラウンド建設

ネパールではグラウンド建設が強く望まれています。何卒ご支援をお願いいたします。



ネパール野球を応 援していただける方 を広く募集いたして おります。

お知り合い・ご友 人の方々にもネパー ル野球をご紹介いた だけるとありがたい です。



編集・発行: NPO法人 ネパール野球ラリグラスの会 〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目10-5 F-CUBEビル 202号 http://www.nepalbaseball.net/ E-mail: info@nepalbaseball.net

